

第 32 回 NISSAN CUP 神奈川トライアスロン大会(6 月 17 日開催)

参加選手の皆様への最終案内

このたびは、当大会に参加申込をいただきまして、誠に有り難うございます。

今大会の名物となりました日産追浜工場テストコース (GRAND R I V E) 内のバイクコースを思う存分楽しんでください。

皆様のお越しをスタッフ一同お待ちしております。当日の受付時にこの最終案内と封筒をご持参ください。

あなたのレース No. は、封筒の宛名欄に記されています。また、参加種目や性別も記入してありますので間違いがないかご確認下さい。もし間違いがあれば下記大会事務局までご一報お願いいたします。

選手権は 1(51)～、一般 101～、一般リレー601～、スプリント 701～、スプリントリレー651～

中学・高校生部門 801～

●大会スケジュール

	スプリント／リレー 中学・高校生	選手権	一般／リレー
受付	7 : 4 5 ～ 8 : 4 5		
開会式	8 : 4 5 ～ 9 : 0 0		
競技説明会	8 : 4 5 ～ 9 : 0 0	9 : 3 5 ～ 9 : 4 5	9 : 2 0 ～ 9 : 3 0
入水チェック	9 : 0 5 ～ 9 : 1 2	9 : 5 5 ～ 1 0 : 1 0	1 1 : 0 0 ～ 1 1 : 2 5
競技開始	9 : 1 5	1 0 : 1 5	1 1 : 3 0 (101～200) 1 1 : 3 3 (201～300) 1 1 : 3 6 (301～400) 1 1 : 3 9 (401～ 601～)
閉会式／表彰 式開始	1 0 : 5 0 (予定)	1 5 : 3 0 (予定)	

=== 会場でのビデオ、写真撮影（携帯電話付属カメラなども含む）について ===

残念ながらトライアスロンを含む多くのスポーツ会場では、不健全な目的での撮影行為が見られることがあります。近年の撮影機材の小型化、高性能化には目を見張るものがあります。このため、本人の同意を得ない撮影を容易に行うことが可能となっています。 当大会では、参加選手の肖像権を尊重するとともに、健全な社会環境を目指し、すべてのビデオ、写真撮影（携帯電話付属のものを含む）について、事前の登録者に限ってこれを許可します。

撮影を希望される方は同封いたしました「撮影申請書」を受付時にご提出願います。撮影許可された方の証として『リボン(登録章)』をお渡しいたします。

選手のご家族、ご友人の方であっても、会場内での撮影には、大会本部に目的、対象選手、身元を明らかにしていただき、登録章を身につけて頂くことになります。登録章を身につけていただきましても、不特定の選手を対象にした撮影はお断り致します。原則として、選手本人の同意のない撮影は行わないでください。

記録写真として、あるいは芸術写真としての撮影を希望される場合は、前述の登録のほかに大会側で貸与するジャケットを着用して頂きます。また、主催者が特に認めた場合を除き、各種メディア（インターネット個人ページを含む）への御本人、ご家族、ご友人以外の写真、動画等の掲載をお断り致します。

**車両を傷つける恐れのある危険物(安全ピン、釘など)の会場内の持ち込みを禁止致します。休憩・着替え用等で各自がお持ち込みになるテントなどでも一切使用を禁止させていただきますのでご了承ください。
レースナンバーの装着も「配布するゴム」または「ナンバーベルト」をご利用ください。安全ピンの使用を禁止致します。**

大会会場にて飲食ブースが出店される予定です。是非ご利用ください。また、バイクメカニックサービスも予定致しております。

＝ご参加の注意事項とお願い＝

●会場までの交通手段について

①公共交通機関の場合

京浜急行追浜駅下車後徒歩 25 分、または田浦・深浦循環バス『田 17』系統（追浜駅前バスターミナル 2 番／時刻表は下記）で「東京ファイン前」（所要 5 分）下車後、徒歩で 600m（程度 8 分）。バイクは、必ず輪行袋に入れ乗車してください。下車後、組み立ててご来場ください。

6 時 20 42

7 時 00 16 30 43 55

8 時 10 25 40 55

②車の場合

最寄りのインターは、横浜横須賀道路（横々道）の朝比奈インターです。インターを降りたら左側に道なりに海に下る道を走り、国道 16 号線の六浦交差点を『右折』。国道 16 号線の追浜駅前交差点を海の方へ約 5 分の日産グランド方面へ。当日は、渋滞が予想されるため、時間に余裕をみておいでください。駐車場に限度がありますので、なるべく相乗りでおいでください。

●駐車について

大会会場に自動車でお越しになられる場合、同封いたします『駐車証』をフロントガラス内側に掲示し大会指定駐車場（日産自動車追浜工場 成形工場屋上）をご利用下さい。路上の警備員、看板の指示に従って入場をお願いします。例年、周辺事業所出入り口周辺に駐車するなどの迷惑駐車など、誤った駐車方法による苦情、通報による警察による取締が行われているのが現状です。

●リサイクルプラザ“アイクル”について

大会スイム会場に面して横須賀市リサイクルプラザ“アイクル”という施設があります。ゴミの分別を主な業務としていますが、リサイクルに関する情報を提供するなど、広く市民が利用する施設となっています。

アイクルは、日曜日でも開館しており、地域の住民の方々が訪れますので、アイクル駐車場にはトライアスロン関係車輛の駐車は禁止とします。また、トイレなどの施設も地域住民等の利用が原則ですので、トライアスロン関係者は利用をご遠慮下さい。アイクルには、日曜日でも分別収集されたゴミが持ち込まれますので、車輛には十分に注意してください。

●大会補償について

大会補償規定に基づき、大会中の事故を補償します。ただし、故意、犯罪行為、麻薬などの使用、精神障害、他覚症状のない“むちうち症”または腰痛、大会直前12ヶ月以内の既往症と因果関係のある疾病による身体障害、地震、噴火、津波、戦争その他の争乱などは、対象外となります。

※競技参加に際し、傷害保険、生命保険など各自で十分な保険に加入されることをお奨め致します。

●当日の問診と健康相談

当日、受付時に全選手に健康に関する問診票の記入をお願いします。内容によっては、医師による健康相談を受けていただきます。

●保険と医療

スイム会場、メイン会場のメディカルテントには、医師が常駐します。必要に応じ病院へ搬送しますので、健康保険証（本証もしくは写し）を持参してください。

●工場内の車輛に注意！

メイン会場はもとよりバイク、ランコース付近にも多くの完成車が保管してあります。競技中の不注意などによる損傷などに十分注意してください。

●立ち入り禁止場所の設定

完成車保管場所の関係上、立入禁止区域があります。選手、応援の方も十分注意して下さい。係員の指示、看板などの表示内容を守って下さい。

●知的障害者聴覚障害者の選手も参加

神奈川県トライアスロン連合の大会では、これまでもハンディキャップを持たれている方にも門戸を開いてきましたが、今回も知的障害者の方が大会にエントリーされています。競技中には伴走の方もコース上を走られることとなりますので、一般選手の皆様のご理解とご協力をお願いします。

●ゴミ分別とマナーの徹底

大会会場でのゴミは、持ち帰りを原則とします。（参加者全員にビニール袋をお渡しいたしますのでゴミは各自お持ち帰り下さい。会場にはゴミ箱の設置をいたしておりませんのでご了承下さい。

●コースの概要(詳細はコース図をご参照ください)

■スイム

- ・選手権の部、一般の部、一般リレーの部では、1周(往復)750mのL字形の往復型コースを2周(往復)します。干拓工事の為、一昨年までとコースが変更になりました。
- ・スプリントの部、スプリントリレーの部は、片道100mのコースを2往復(計400m)となります。
- ・コース全長にわたって小型のブイのついたロープを展張する予定です。
- ・スイムキャップは支給されたものを利用ください。

■バイク(テストコース(GRAND RIVE)内の試走は出来ませんのであしからずご了承下さい)

1周6.6kmの周回コースです。

スプリントの部、スプリントリレーの部は3周回

選手権、一般の部、一般リレーの部は6周となります。

■ラン

- ・スプリントは2.9km×1周+0.1kmで3km、選手権・一般の部は3.3km×3周+0.1kmで10kmです
- ・周回チェックは、輪ゴムを受け取る方式です。スプリントは1本、選手権・一般は5本揃えばフィニッシュへ!

●受付について

1. 受付時間は全てのカテゴリー7:45~8:45(当日のみ)です。時間内の受付をお願い致します。

2. 支給品

プログラム1部、スイムキャップ1枚、記念ポロシャツ1枚、スポンサー支給品各種、トランジションバッグ1枚、レースナンバー1枚(リレー部門のみ2枚)(平型の長ゴム紐付)、ナンバーシール(バイク1枚、ヘルメット1枚)

工場内への危険物(鋭利な安全ピンなど)放置・落下防止のため、レースナンバー取付用の『安全ピン』の配布を取りやめました。配布の『平型の長ゴム紐』やお持ちの『ナンバーベルト』の着用をお願いします。

3. ナンバリング

受付後に、レースナンバーを腕にマジックで書いてください。フルウエットスーツの場合は、手の甲に書いてください。

4. レースナンバー

レースナンバーはバイク競技においては背面に、ラン競技においては正面によく見える様に表示してください。

ナンバーシールは、ヘルメットの前面とバイクサドル下フレームに貼ってください。

5. 車検

バイクショップ等での事前チェックの義務づけはありません。ただし、各自で事前に調整をおこなってください。大会前に、ショップ等によるメンテナンスを行うことを奨励します

6. トランジションのセット

3種目とも着替えはトランジションエリア(大会メイン会場)で行ってください。着替え用のテントを用意します。トランジション・エリアには、各自のレースナンバーの表示されたラックにバイク用具やランの用具をセットして下さい。

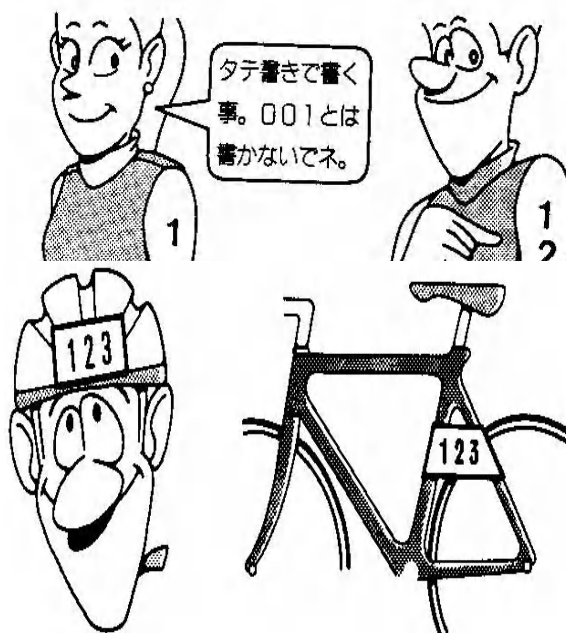
トランジション・エリアの解放は、各カテゴリーのバイク制限時間後となります。

7. 競技後に必要な荷物

競技終了後の着替えなどの荷物は、応援の方に渡すなど、各自で管理することを原則とします。本年度大会では「荷物預かり所」はありません。お車の『キー』のみは大会本部でお預かりできます。

8. 集合・競技開始セレモニー・競技説明会

選手受付のある大会メイン会場に規定の時間に集合していただきます。競技開始セレモニーと競技説明を行います。重要事項の説明がありますので、必ず出席して下さい。



●競技に関して

1. 入水チェック

競技開始セレモニーと競技説明が終わりましたら、所定のチェックポイントを通過し、入水チェックを行って下さい。このとき、計測用のアンクルバンドを配布します。入水チェック終了後は、エリアから出ることはできません。安全確保のため入水人数を把握する必要がありますので、ご協力下さい。

2. アンクルバンド

入水チェックの際に、計時用のコンピューターセンサーのセットされたアンクルバンド（足首装着）を支給します。銀色の面が表、黄色いジャージ面が裏（肌に接する）となるように、足首に装着してください。アンクルバンドは、マジックテープで固定しますが、外れにくくするためのゴムバンドの装着も忘れないようにお願いします。アンクルバンドは、レース終了後フィニッシュエリアで回収いたします。

3. スタート

スタートは、特設のスロープによって行います。各カテゴリーのスタート時間をよく把握し、順序よく入水して下さい。スタートまではフローティングで待機して下さい。

4. 制限時間

	スプリント、スプリントリレー 中学・高校生	選手権、一般、一般リレー
スイム競技制限時間	スタートより 4 5 分	スタートより 6 0 分
バイク競技制限時間	スタートより 1 時間 3 0 分	スタートより 2 時間 4 0 分
最終競技制限時間	スタートより 2 時間 3 0 分	スタートより 4 時間 0 0 分

制限時間内競技中であっても審判員が「制限時間内に競技終了見込みがないと判断」した場合は、競技を中止させて頂くことがあります。

5. 競技規則

公益社団法人日本トライアスロン連合競技規則および、大会ローカルルールに従い競技します。

6. 表彰式&閉会式

選手権・一般・一般リレー部門は15時30分に開始する予定です。

スプリント・スプリントリレー・中学生・高校生部門は順位が確定次第『開会式付近』にて表彰式を行います。（10:50 位からを予定）入賞者の方はご集合ください。

7. 棄権の申告

棄権する方は、レースナンバーを外してレースを終了して下さい。コースに沿って大会本部に戻ってください。そこでアンクルバンドをご返却ください。アンクルバンドの損傷、紛失、持ち帰りは¥5,400 を後日請求させていただきます。

8. 他人名義での出場の禁止

他人名義での出場が判明した場合、失格とします。公正な競技運営の妨げになるだけでなく、緊急時の身元の確認ができないこと、万が一の場合の補償の適用も受られないなど、大きな不利益を被ることになります。

9. 医療

少しでも体調の異常を感じたら、医療テントで診察を受けてください。体調を十分整えたとともに、睡眠不足、徹夜明け等での参加はご遠慮ください。必要に応じて病院に搬送することもありますので、健康保険証（写し）を持参してください。

●その他 1. 大会補償の請求について

本大会では、大会参加に起因する傷害（一部疾病を含む）が対象となる大会補償規定を設けています。医療機関に通院、入院されるなど支払の伴う治療が必要となった方等が支払の対象となります。

保険の請求をされる方は、大会事務局迄ご連絡下さい（FAX:04-2926-1831 m-tel:090-7216-3528）までご連絡下さい。補償を担当する保険会社から請求資料をお送りします。

2. 荒天の場合

予備日を設けていませんので荒天の場合は、中止または距離・内容の変更を実行委員会で決定します。その場合、募集要項・誓約書に則り、参加費用の返金はできませんのでご了承下さい。

3. 記録一覧の発行／インターネットでの閲覧

記録一覧（リザルト）は、参加された方全員（リレー参加チームは代表者の方のみへ）後日郵送します。このほか、インターネットでも閲覧できます。

神奈川県トライアスロン連合公式HP	http://www.kanagawa-triathlon.jp/
エムスポ（MSPO）ホームページ	http://www.mspo.jp
大会事務局情報ページ	http://www.ne.jp/asahi/shake/hand/

●競技ルール等について(競技規則の詳細は『JTU ルールブック』をご覧ください。JTU ホームページでの閲覧も可です。)

■スィム (「RESTUBE」の持ち込み装着を許可致します。但し、利用した場合(膨らませた場合)はDNF(未完走)になります。主催者からの貸し出しはありません。)

1 大会当日の予想水温は20～22度です。保温と安全のため、中学生・高校生を含むすべてのカテゴリーでウエットスーツの着用を義務づけます。(但し、選手権の部はJTU規定に従いスィム競技を実施致します)不着用は、参加出来ません(ご自身で準備して下さい。主催者準備のレンタルは一切ございません)。水温の変化、海流、波、他の選手との接触等がある点に注意してください。

2 足首に計時用アンクルバンドを装着します。なくさないように泳いでください。

3 スタートは、ウェーブスタートです。スタッフの指示に従い、栈橋から入水してください。スィムキャップの色別に分かれて指定のスタート時刻にスタートラインへ並んでください。

4 栈橋の強度の関係上係員の誘導にしたがって速やかに入水して下さい。

5 反時計回りにコースロープ沿って泳いでください。L字のカーブではコースロープとブイの間を泳いで下さい。ショートカットした場合は、未完走となります。

6 スィム中、体調を悪くした選手は、救助を受け退水して下さい。無理に競技を続けることは、自分自身の生命を危険にさらすばかりでなく、大会運営に支障を来すことをご理解下さい。

7 緊急救助などの際には、搬送船舶の移動ルートの確保のため、誘導に従い、競技を中止しコースを開けてください。

■バイク

1 アンクルバンドは、バイク競技時にもつけたままにしてください。

2 工場からテストコースへ通じる『南門』付近は『対面通行』『急カーブ』『勾配の急な坂』です。係員の指示に従い十分な減速をして注意をして走行してください。

3 周回コースの為、1周毎に周回チェックがあります。アンクルバンドによる非接触式の自動チェックです。

4 周回チェックでは、それぞれの競技者の周回数をお答えすることはできません。周回数は各競技者の責任でカウントしてください。サイクルメーターなどを装着し、1週の距離を確認し、各周回ごとにカウントすることをお勧めします。

5 バイクでは、エイドステーションはありません。各自で給水ボトル等を用意してください。

6 転倒した選手に対し、負傷の程度に応じてスタッフが競技を中止させることがあります。救急車走行時にはスタッフの誘導に従い、コースを開けてください。

7 ヘルメットのストラップは、ラックからバイクを外す前にしっかりと締め、フィニッシュ後はバイクを掛けてからストラップを外してください。

8 トランジションエリア内はバイク乗車禁止です。ペダル片足走行も禁止です。

9 バイクの前輪の先端が乗車ラインを越えてから乗り、降車ラインを越える前に降りてください。

10 すべてのカテゴリーでドラフティング禁止です。(但し、選手権の部はドラフティング許可レース)

11 ドラフトゾーンは、バイク前輪の最前部を起点に、後方7m、横幅3m(両サイド1.5m)

12 ブロッキングの禁止：ブロッキングは集団走行の原因となりやすく、ペナルティの対象となります。

①道路の中央寄りを走行して後続車の追い越しを妨げる

②先行者を追い抜いた後に十分抜ききらず(7mの距離を開けずに)に追い抜かれた選手の前に入る

選手は必ず左端走行を守って下さい。併走行も同様に禁止です。

13 テストコース(GRANDRIVE)の試走は出来ませんのであしからずご了承下さい。

14 選手権では、先頭にラップ(周回遅れ)された場合、DNFになります。

15 選手権では、ドラフティング許可ルールを適用します。バイクは既定のハンドルバー使用を満たすこと。

■ラン 工場内の周回コース

1 給水ポイントが数箇所用意してあります。各自で早めの給水を心がけて下さい。

2 折返しの周回チェック地点では、周回チェック要員から輪ゴムを受け取ってください。一般、一般リレーの部は輪ゴム5本、スプリント、スプリントリレーの部は輪ゴム1本でフィニッシュに向かってください。

3 レースナンバーがなかったり、裸でのフィニッシュは禁じられています。

4 記録判定の正確を期すため、選手同士で手を組んでのフィニッシュや、選手以外の方との集団でのフィニッシュはおやめ下さい(障害者の伴走は除きます)。

5 アンクルバンドは、競技終了まで付けていてください。フィニッシュ後回収します。

6 競技を中止(途中棄権)される選手は、レースナンバーをはずし、競技本部にアンクルバンドを返却してく

ださい。

7 全てのカテゴリーで同伴フィニッシュは禁止致します。競技者同士の安全確保の為です。ご理解お願い致します。

■リレー部門に関する注意事項について

1 引継方法

リレー部門参加者の計時用のアンクルバンドは、取り外しのできるタイプです。バトン、タスキによりこのアンクルバンドを受け渡して競技の引継を行ってください。

2 リレーゾーン

トランジションのバイクラック付近に「リレーゾーン」を設けます。リレーゾーンで引き継ぎを行ってください。次の種目を行う競技者は、審判員の指示に従ってリレーゾーンで待機してください。

3 スイム競技者

スイム競技者は、大会指定スイムキャップを装着し競技を行ってください。スイムを終了したら、歩行、走るなどの方法でトランジションエリアに移動し、リレーゾーンで引継をしてください。

4 バイク競技者

バイク競技者は、レースナンバー、ウェア、ヘルメットを装着の上、リレーゾーンで待機してください。

引継後にバイクをピックアップし、トランジションエリア内はバイクに乗車せず移動し、乗車ラインを超えてからバイクに乗車し、競技を行ってください。

バイク走行終了後は、降車ライン手前で降車しトランジションエリアを移動し、バイクラックにバイクを置いてからリレーゾーンに向かい、引継を行ってください。

5 ラン競技者

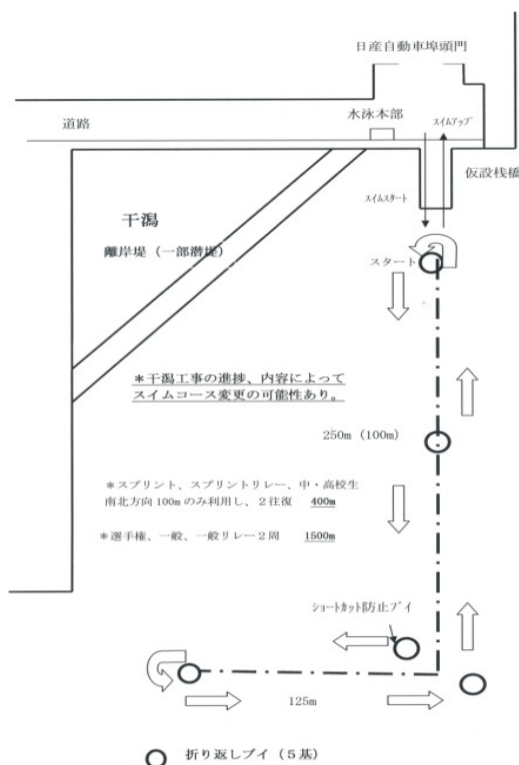
ラン競技者は、レースナンバー、ウェアを装着の上、リレーゾーンで待機してください。

6 同一競技者による競技

同一競技者がスイム+バイク、バイク+ランを行う場合は、一度リレーゾーンを通過するようにしてください。

7 リレーの部に限りスイムスキップを認めます。スイム競技の途中リタイア、制限タイムオーバーに関わらず、リレーの部スイム競技制限時間終了後の10:00（スプリント）／12:39（一般）に一斉スタートします。計測は行いますが、記録は参考となります。

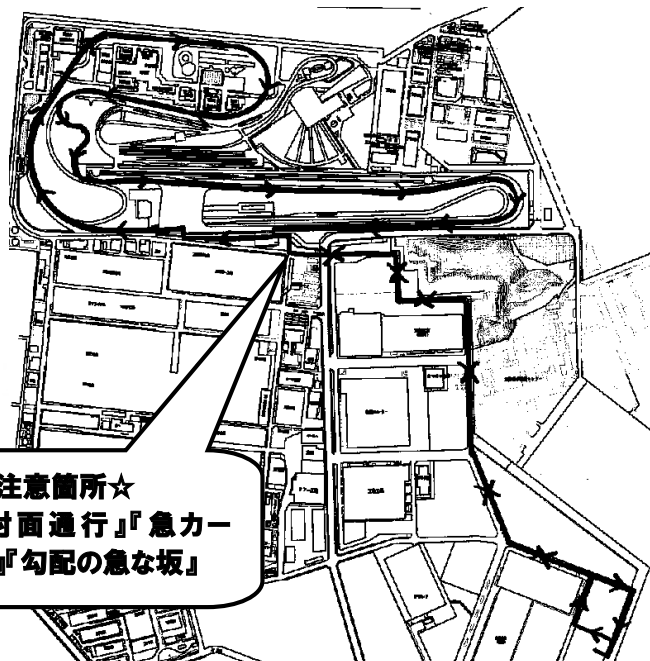
スイムコース図



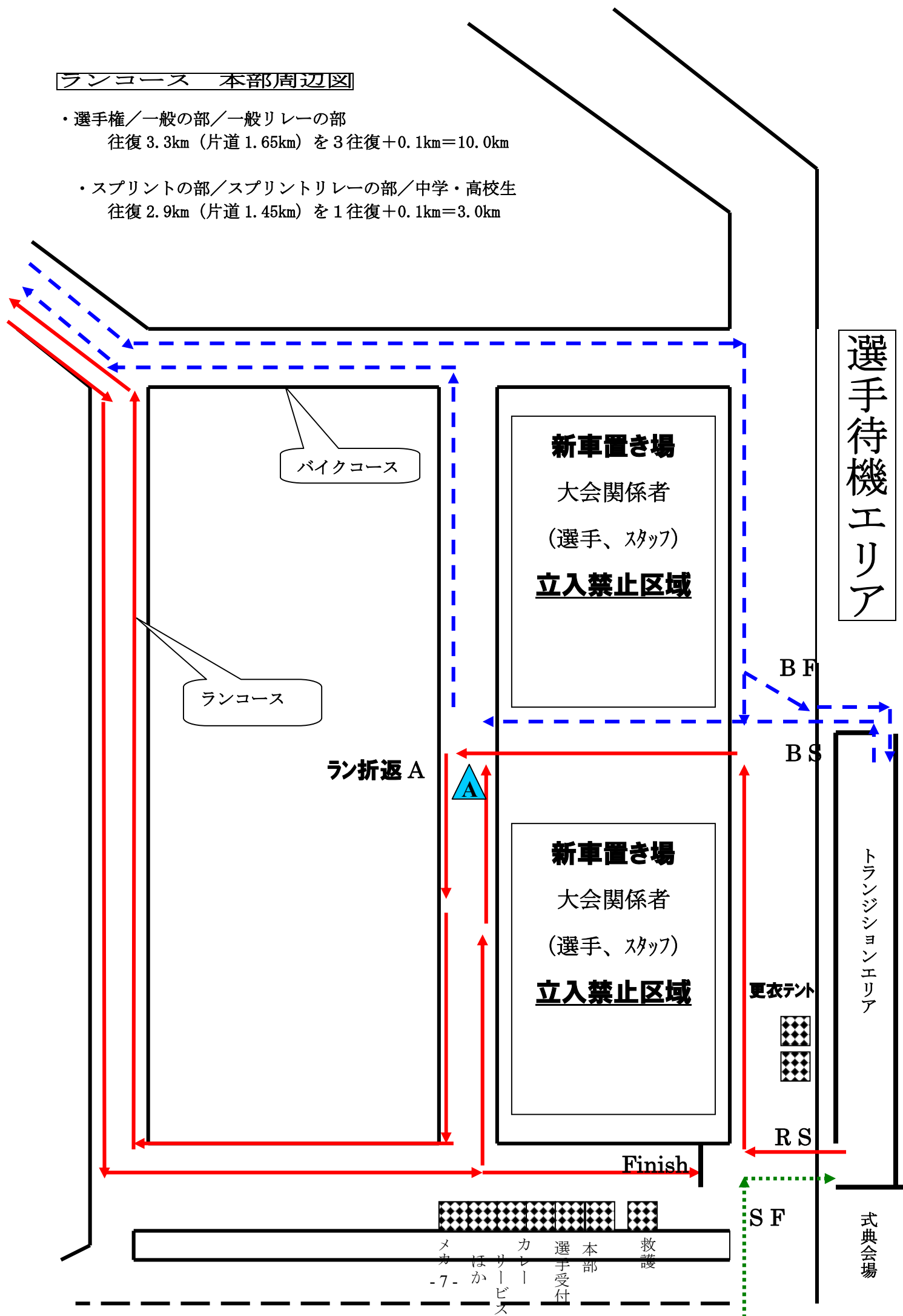
バイクコース図

・選手権／一般の部／一般リレーの部
6.6km（1周）を6周回

・スプリントの部／スプリントリレーの部
／中学・高校生
6.6km（1周）を3周回



- 選手権／一般の部／一般リレーの部
往復 3.3km（片道 1.65km）を 3 往復 + 0.1km = 10.0km
- スプリントの部／スプリントリレーの部／中学・高校生
往復 2.9km（片道 1.45km）を 1 往復 + 0.1km = 3.0km



ランコース全体図

